



2014年7月1日

各 位

会 社 名 株式会社ワイヤレスゲート
(コード9419：マザーズ)

住所 東京都品川区東品川2-2-20
天王洲郵船ビル5階

代表者 代表取締役CEO 松本 洋一

問合せ先 IR室 室長 須永 直樹

(TEL. 03-6433-2045)

「Fujisan Free Wi-Fi プロジェクト」の進捗のお知らせ

～デジタルサイネージ型の Wi-Fi 環境構築モデルを提供～

ワイヤレス・ブロードバンドサービスを提供する株式会社ワイヤレスゲート（本社：東京都品川区 代表取締役CEO：松本 洋一 以下ワイヤレスゲート）は、Wi-Fi 環境イネーブラー事業の一環として産官民協働「Fujisan Free Wi-Fi プロジェクト」に参画しておりますが、進捗がございましたのでご報告いたします。

このたび、当社がこれまでWi-Fi 環境イネーブラー事業で培ったノウハウを活用し、7月1日の富士山の山開きにあわせ、観光客向けにフォトスタンドを設置し、Wi-Fi 環境の提供と一体となったデジタルサイネージ型のアクセスポイント「フォトタス at 富士山」をロイヤルホテル河口湖に設置いたしました。

デジタルサイネージ型Wi-Fiの「フォトタス at 富士山」は、撮影した写真の背景に自分等を写し、ディスプレイにメッセージ等を書き込むことが可能です。作成した写真は、生成されたQRコードをスキャンして画像を取得し、Wi-Fiを利用してSNSなどにアップすることが可能です。

このサービスは、利用者からサービス利用料等を頂きWi-Fiの設置・運用費用に充当するというスポンサーモデルでのWi-Fi環境構築となっております。

このようにサービスと連動したWi-Fi環境構築モデルが、「Fujisan Free Wi-Fi プロジェクト」のモデルとして採用されており、こういった収益モデルを導入することで、これまではWi-Fi環境の構築・運用のコスト負担を強いられていたWi-Fi環境導入事業者は、コスト負担を強いられることなくWi-Fi環境の導入が可能となるため、導入の意思決定が早くなり、急速にエリア整備が進むようになります。また、当社が所有する「人の流れ」解析機能により、同一観光エリア内での人の流れの把握だけではなく、広域での人の流れをビックデータとして捉えた解析が可能となり、山梨県、静岡県、神奈川県といった富士山周辺の観光地が相互に観光客の送客を行うなど、観光エリアごとの連携による相乗効果が期待できるようになります。

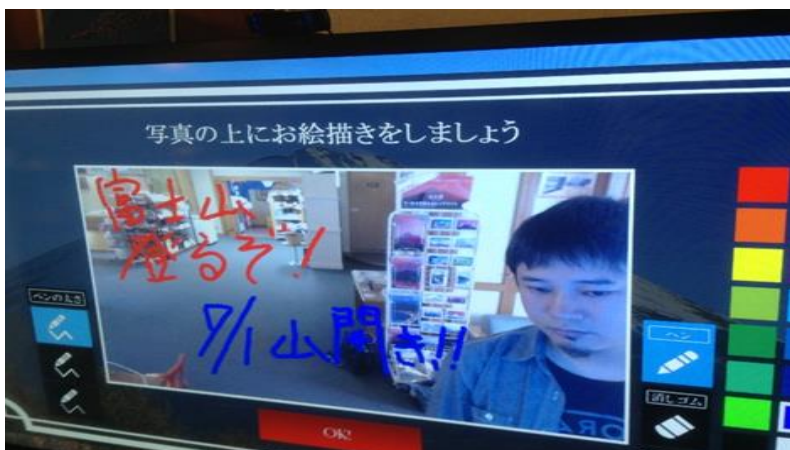
さらに、当社のアクセスポイントは、総務省主催の無線 LAN ビジネス研究会の自主的推進活動として発足した無線 LAN ビジネス推進連絡会が 2014 年 5 月 27 日付けで発表した災害用統一 SSID 『00000JAPAN(ファイブゼロジャパン) 』に対応を予定しており、災害時には、観光客のみならず、周辺住民のライフラインとなる通信環境の提供も予定しております。

ワイヤレスゲートは、今後も、Wi-Fi環境イネーブラー事業をさらに積極的に推進して参ります。

(写真) ディスプレイスタート画面



(写真) フォトタスat 富士山利用画面 (イメージ)



以上